

参考

アンケート内容

自動車整備業界では、現在、整備士を目指す若者の減少や高齢化の進展により、整備士（国家資格取得者）の人材確保は大きな課題の一つとなっています。そこであなたの事業場の状況についてお尋ねします。

1. 人材確保の現況について

- あなたの事業場の現在の状況について、次のうち最も近いものを一つ選んでください。

- イ. 整備士不足の状態にはない
- ロ. 整備士不足の状態にはあるが、事業への影響は少ない
- ハ. 整備士不足の状態であり、事業に支障をきたしている

2. 求人活動について

- この一年間、あなたの事業場では整備士の求人活動を行いましたか。最も近いものを一つ選んでください。

(1) 求人活動を行った（次の①②も回答ください。）

①求人理由を選んでください。（複数回答可）

- イ. 退職者の後任として
- ロ. 事業拡大のため
- ハ. 定期的な求人として
- ホ. その他（ ）

②求人活動の結果について、最も近いものを一つ選んでください。

- イ. ほぼ予定通り、整備士を採用
- ロ. 整備士の採用はできたが、予定求人数には不足
- ハ. 整備士を採用出来なかった
- ニ. その他（ ）

(2) 求人活動を行っていない

ご協力ありがとうございました。

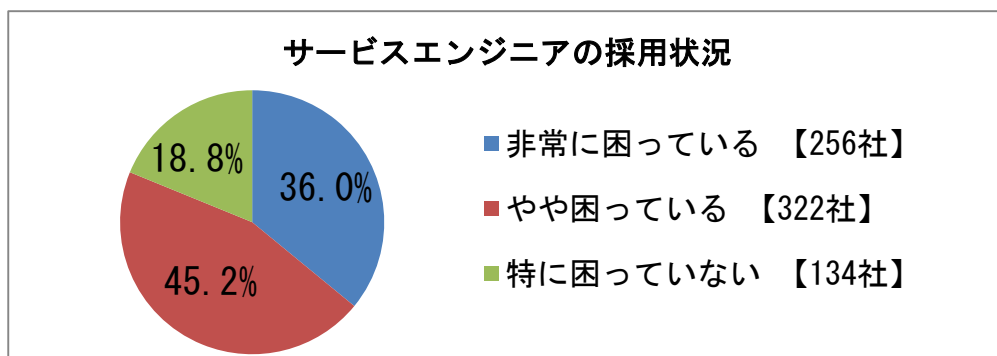
自動車ディーラーにおけるサービスエンジニアに係る人材採用に関する状況

一般社団法人日本自動車販売協会連合会が平成26年4月に実施した、会員総合調査での「人材採用に関するアンケート調査」におけるサービスエンジニアに係る結果は、以下となった。

* 乗用車店：有効回答 712 社

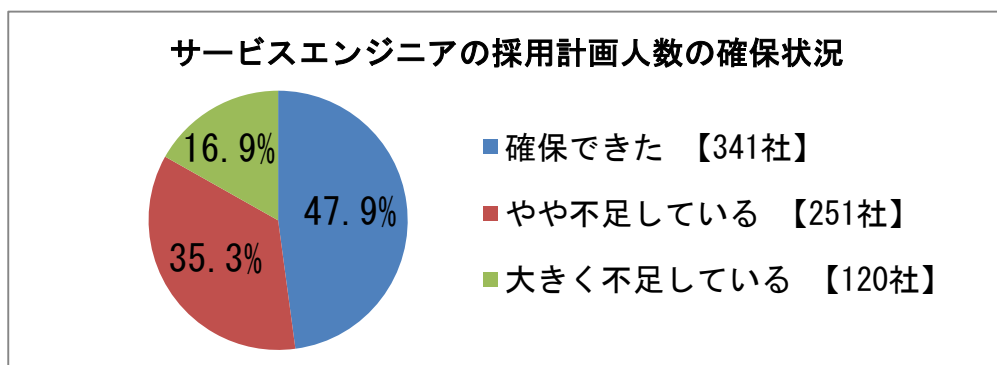
1. サービスエンジニアの採用状況

サービスエンジニアの採用状況では、「非常に困っている」が36.0%と非常に多いことが特徴。「やや困っている」が45.2%で、双方を合わせると81.2%の販社が困っていると回答しており、問題が深刻であることが確認できる。



2. サービスエンジニアの採用計画人数の確保状況

サービスエンジニアの採用計画人数の確保状況では、「確保できた」は47.9%という水準。「やや計画を下回った」は35.3%、「大きく計画を下回った」が16.9%、双方を合わせると52.2%が不足していると回答。



3. 人材採用の募集ルートについて(含む営業職)

効果の高い採用募集ルートでは、「大学・専門学校の就職課」が69.4%と最も多く、「就職フェア・合同説明会」が61.2%、「就職サイト」が52.2%と続き、これらが主要となっている。

効果の高い募集ルート（複数回答）

大学・専門学校の就職課	学校推薦	縁故	新卒ハローワーク	就職フェア・合同説明会	就職サイト	ソーシャルメディア活用	自社ホームページ	新卒紹介サービス	その他
69.4%	29.4%	10.5%	25.0%	61.2%	52.2%	4.4%	30.6%	1.4%	3.4%